

糸魚川法人会 会員の皆様へ

PET/CT検診のご案内

脳すこやか検診(認知症検診)のオプションもあります

PETとは、がんを見つけるための画像検査法です

日本人の死亡原因の1位である「がん」。

しかし「がん」であっても早期に発見されれば治療する可能性が高くなります。

PET/CT検査のメリット

●早期発見

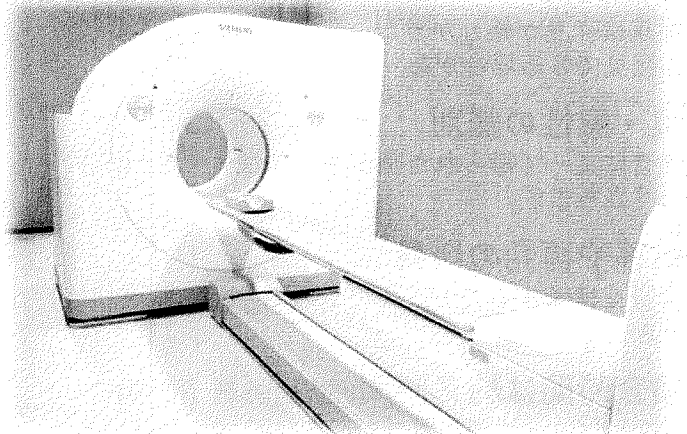
最新鋭のPET/CT装置は従来は発見が難しかった、1cm以下のがんでもみつけられる場合があります。

●全身の画像診断

全身を一度に画像診断できます。病期診断、転移、再発の診断に有効です。専門医が診断致します。

●短時間で終了

PETとCTの一体型装置により約15~20分で検査は終了します。受付から検査終了までは2時間程度でお帰りいただけます。



▲PET/CT装置

PET/CT検診料金

PET/CTがんドック検診(スタンダード)

①PET/CT検査+②腫瘍マーカー検査+③血液生化学検査+④大腸がん検査(便潜血検査)

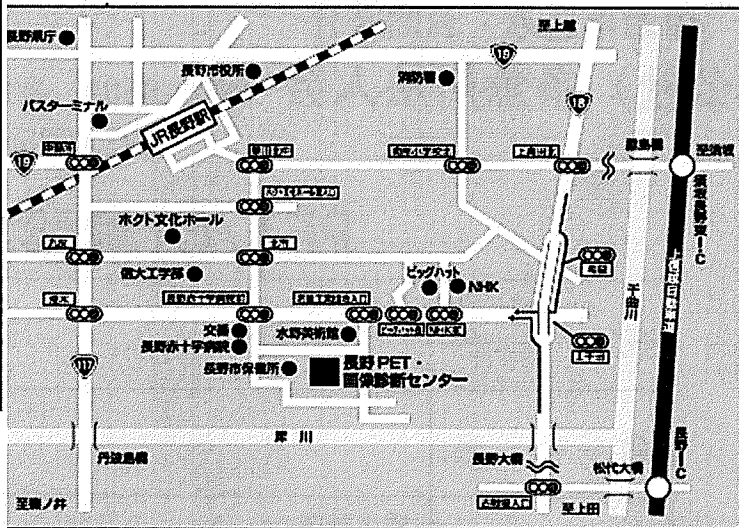
◆糸魚川法人会会員 **98,400円**(税込)
(103,400円のところ、会からの補助5,000円)

◆一般 108,900円(税込)

PET/CT検査 スタンダードに

+2,750円(税込)で『脳すこやか検診』
が受けられます

- バスを利用される場合
JR長野駅東口バス停(長電バス)
水野美術館行/アークス中央行/ビッグハット行
若里多目的広場前バス停下車 徒歩0分
- 車を利用される場合
上信越自動車道長野I.C.から車で30分 又は須坂長野東I.C.から車で30分



★詳しくはホームページをご覧ください★

<http://nagano-pet.com>

長野PET

検索

申し込み・お問合せ

0120-780-336

受付・診療時間
月~金 8:30~17:00
第2・4土 8:30~12:30



JA長野厚生連
長野PET・画像診断センター

〒380-0928 長野県長野市若里6-6-10

TEL 026-269-0550

FAX 026-269-0555

●実施日

月～金：12:00～13:20
第2・4土：9:00～10:20

●検診料金(糸魚川法人会会員特別料金)
PET/CT検査 スタンダード

98,400円(税込)

(103,400円のところ、会からの補助5,000円)

PET/CT検査スタンダード+脳すこやか検診

101,150円(税込)

PET/CT 検査の特徴

●早期発見

従来は発見が難しかった、1cm以下の「がん」でも発見できる場合があります。

●良・悪性の鑑別

検査によって得られた画像が、良性・悪性の鑑別に役立ちます。

●転移や再発の発見

全身を検査するので、転移や再発の発見に期待ができます。

●検査時間は約2時間(問診から終了まで)

PETとCTの一体型装置での撮影は約15～20分です。

【PET/CT検診の弱点】

*検査の特徴から病巣を発見しにくい場所もあります。
*がんの種類によっては発見しにくいものもあります。

●PET/CT検査・受診の流れ

(通常2時間程度で終了します)



下記の申込書にご記入いただき、ご送付ください。

●お申込み・お問合せ

(公社) 糸魚川法人会 〒941-8601 糸魚川市寺町2-8-16 糸魚川商工会議所内
TEL (025) 550-4011 FAX (025) 550-4010

PET/CT検診申込書

フリガナ 氏名		生年月日	
会社名		TEL FAX	
検診実施日	第1希望 月 日 曜日	第2希望 月 日 曜日	
ご案内状 送付先	〒 TEL		

脳すこやか検診[※] ご案内

※脳すこやか検診は 認知症検診の愛称です

- がندوقク検診にオプションとして追加
できます。
- 追加料金は2,500円(税別)です。
- 原則60歳以上の方が対象です。
- 人数や予約時間に制限があります。
- 完全予約制ですので、ご希望の方は
お早めにご連絡をお願いします。
※検査当日のオプション追加はできません。
- 詳しくは長野PET・画像診断センター
へお問い合わせください。

裏面もご覧ください

PET/CTで認知症診断ができるしくみ

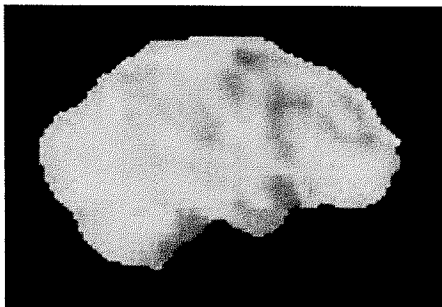
＜なぜ認知症を早期に発見できるの？＞

- 認知症の進行は
 - ①まず脳の機能(脳細胞の活動性)が低下します。
 - ②そのあとに、脳が痩せてきて形が変化します。
- CTやMRIは脳の形の変化で診断をします。
ところがPET/CTでは脳の機能が低下した段階で診断ができるので、認知症の早期発見ができます。

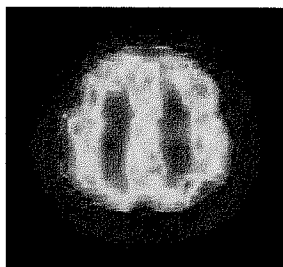
＜PET/CTで認知症診断ができるしくみ＞

- PET/CT検査で使用する薬剤は、がん細胞などエネルギーが沢山必要な細胞に集まる性質があります。
- 脳も非常に多くのエネルギーを必要とするため、検査の薬剤が多く集まります。
- ところが、脳細胞の中でも活動性が低いところは、ほかの脳細胞と比べてエネルギーの消費が少ないため、薬剤の集まり方がいくらか低くなります。
- 脳のPET/CT画像をコンピュータで解析して、脳の活動性が低いところを特定することで、認知症の診断ができるというしくみです。

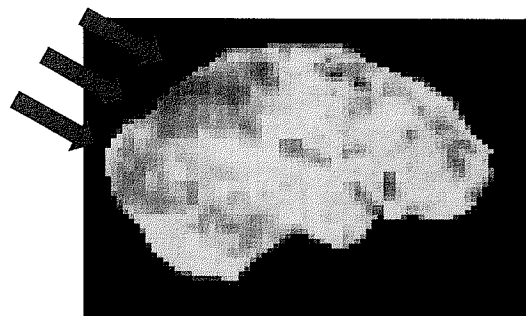
正常な脳PET画像



正常な脳は薬の集まり方が全体的に均一です。



アルツハイマー型認知症の脳PET画像



矢印部分が薬の集まりが低いところ
(脳の活動性が低くなっているところ)

